科目名（Eng）	日本語(Japanese)								
担当教員	高橋 圭介								
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数				分野	形態	学修単位科目
	一般科目コミ	2	通年	必修	4	120	一般	A	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(F-1)．(F-2)． 修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：6)．								
授業の概要と方針	①「評論文や小説、古典作品の読解」、②「自らの意見を文章にしてまとめる」、③「漢字・語彙等の学習」を通じて、日本語の運用能力を高めることを目的とする。								
到達目標	①筆者の主張を正確に把握し、それに対する自らの意見を明確な日本語で表現することができる。 ②文章の読解や作成を通して、論理的な思考力を身に付ける。 ③日本語に関するさまざまな知識（漢字・語彙・文法等）を身に付ける。								

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	事前学習
前期	1	随想「カフェの開店準備」	行為の習慣化	本文を一読し、漢字の読み、語句の意味を調べておく。課題が出されている場合は、事前に必ず実施しておく。
	2	小説「待ち伏せ」	経験と記憶	
	3	評論「身体像の近代化」	日本の習俗と裸体	
	4	評論「身体像の近代化」	近代化と身体	
	5	古文「門出」	平安朝日記文学	本文を読み、重要古語の意味を調べておく。自分なりの現代語訳を考えてくる。
	6	古文「黒鳥のもとに」	語句と助動詞	
	7	古文「帰京」	現代語訳	
	8	評論「動物のことば・人間のことば」	動物のことばと人間のことばの違い	第１～４週と同様の準備をしてくること。
	9	評論「動物のことば・人間のことば」	言語習得に関する違い	
	10	評論「動物のことば・人間のことば」	約束における観点の二重化	
	11	漢文「鶏鳴狗盗」	書き下し文と現代語訳	本文を返り点に従って読めるようにしておく。
	12	漢文「鶏鳴狗盗」	書き下し文と現代語訳	
	13	評論「世代間倫理としての環境倫理学」	環境問題と世代間倫理	第１～４週と同様の準備をしてくること。
	14	評論「世代間倫理としての環境倫理学」	未来への責任という倫理	
	15	テスト問題の解説、問題演習	テスト問題の解説、問題演習	テスト問題を持参。
後期	16	随想「『市民のイメージ」	「市民」ということばの意味	第１～４週と同様の準備をしてくること。
	17	小説「山月記」	虎になる前の李徴	
	18	小説「山月記」	自尊心と羞恥心	
	19	小説「山月記」	李徴の宿命	
	20	古文「安養の尼の小袖」	説話文学について	本文を読み、重要古語の意味を調べておく。自分なりの現代語訳を考えてくる。
	21	古文「老いを養ふ国」	語句と助動詞	
	22	古文「老いを養ふ国」	現代語訳	
	23	評論「ミロのヴィーナス」	欠落の美	第１～４週と同様の準備をしてくること。
	24	評論「ホンモノのおカネの作り方」	貨幣とは何か	
	25	評論「ホンモノのおカネの作り方」	貨幣の本質	
	26	漢文「季札剣を挂く」「管鮑の交はり」	書き下し文と現代語訳	本文を返り点に従って読めるようにしておく。
	27	漢文「食指動く」「饅頭を畏る」	書き下し文と現代語訳	
	28	評論「現実と仮想」	仮想の成り立ち	第１～４週と同様の準備をしてくること。
	29	評論「場所と経験」	空間と経験の結びつき	
	30	テスト問題の解説、問題演習	テスト問題の解説、問題演習	テスト問題を持参。

試験について	中間試験：共通科目試験日に50分の試験を実施する。期末試験：50分の試験を実施する。
評価方法	定期試験の成績を70%、小テスト・課題・平素の成績等を30%として評価する。
教科書	『国語総合』『現代文』『古典（古文編）』『古典（漢文編）』三省堂、 『常用漢字の級別学習コンプリート』京都書房
参考書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典（各自で用意すること）
関連科目	
履修上の注意	『常用漢字』に基づいた小テストを計８回実施する。十分に準備した上で臨むこと。また、日頃から多くの文章に触れるよう心がけること。